

都市再生整備計画(第4回変更)

大久保駅周辺地区

京都府 宇治市

平成23年11月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	きょうとふ 京都府	市町村名	うじし 宇治市	地区名	おおくほまきしゅうへんちく 大久保駅周辺地区	面積	約80	ha
計画期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度	
交付期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度	

目標
大目標:水やみどりの自然と調和する、利便性の高いまちづくり
目標1:歩いて楽しい大久保づくり
目標2:来やすい・行きやすい大久保づくり
目標3:円滑に乗換えや移動ができる歩行経路づくり

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ・近鉄大久保駅周辺は宇治市の南西部に位置し、豊臣秀吉の伏見城築造と共に設定された大和街道と、それ以前の主要街道であった奈良街道が会合した箇所であり古くから交通の要衝として栄えてきた。 ・明治から昭和初期にかけて鉄道2本が開通し、近年においては、大阪、京都市内への通勤エリアとして周辺部の宅地化が進むにつれ、バス交通網も充実してきたことから、近鉄大久保駅を中心に城陽市、久御山町、宇治田原町などを結ぶ交通結節点としての発達に加えて商業地としても発展がみられた。 ・その後、モータリゼーションの普及に伴い大規模商業施設の郊外出店が相次ぎ、中心商業地の衰退が深刻化すると共に駅周辺の幹線道路における交通渋滞が慢性化するなど、多くの課題が生じてきたことから総合的なまちづくりを進める必要性が高まってきた。 ・このため近鉄大久保駅の高架事業を進める一方で、市街地再開発事業への取り組みを進めてきたが、この取り組みは経済事情等から平成13年に準備組合が解散するなど、実現にはいたっていない。 ・そこで市では、平成16年度から整備構想の策定に取り組み、市民や地域住民46名が組織する「大久保まちづくりワークショップ」において、タウンウォッチングや交通バリアフリー点検などを通じて地域の課題を発見すると共に、市民による解決方策の提案を受けて「整備構想策定委員会」において、検討を進めてきた。 ・地区の現況としては、みどりが多く残る名木川をはじめ、上流には宇治市植物公園や山城総合運動公園など自然に親しめる空間が身近にあり、住環境としては比較的恵まれている。 ・一方で、JR新田駅と近鉄大久保駅が約300mの距離を隔てて向かい合い、その間に挟まれた商業地は人が行き交う地域にもかかわらず、安全で魅力的な歩行空間が不足しており、かつての賑わいは見られない。また、商業地や駅などに向かう歩行経路についても安全性が不足しており、これからの高齢化社会にふさわしいまちづくりが求められている。 ・また、幹線道路の交通量不足や踏切による交通渋滞が慢性化しており、バイパス道路の建設やこれらを活用したバス路線の充実並びに駅前広場の整備による交通結節機能の向上が求められている。 □近鉄大久保駅乗降客数 30,645人／日(H16) □JR新田駅乗降客数 5,087人／日(H16)
課題
・本地区は府道城陽宇治線(南北方向)、府道宇治淀線(東西方向)が交差する位置にあることから、通過交通と生活交通が混在していることに加え、鉄道により東西地域に分断されており、踏切部を中心に交通渋滞が慢性化している。 ・近鉄大久保駅においては、現道上にバス停が分散しており、バスの方向転換や時間調節ができないなど、ターミナルとしての機能が欠如している。 ・宇治市植物公園から繋がる名木川散策道は、大久保小学校でとぎれており、河川の持つ自然とのふれあい空間の充実を求める意見が多く出されている。 ・駅周辺の歩道は、幅員が狭く、段差も生じているため、安全で快適な歩行空間の充実が求められている。
将来ビジョン(中長期)
○宇治市第4次総合計画 基本方針:大久保地区は、広域的な交通拠点であり、ターミナル機能の充実や商業、業務を中心とした広域拠点として整備を促進します。 基本施策:広域交通ターミナルや商業・業務施設を中心とした広域拠点にふさわしい魅力あるまちづくりを推進するため、駅前広場の整備を図るとともに、周辺地域の再整備を促進します。 ○宇治市都市計画マスタープラン 水やみどりの自然と調和する、利便性の高いまちづくり

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
						目標年度	目標年度
バス停留所以外で待機する最大バス停車台数の減少	台	通勤・通学時にバス停留所(6箇所)に進入できずに駅周辺で停車している最大バス台数の減少	目標2、目標3 近鉄大久保駅前広場を整備することにより、バスの待機、乗り入れが円滑に行えるようになり、駅周辺の渋滞が緩和する。	6	平成18年度	0	平成23年度
生活道路の自動車通過交通量の減少	台/12h	整備前後の自動車交通量N台(減少率)	目標1、目標2 宇治淀線北側側道を整備することにより、大久保駅周辺の幅員が狭い生活道路を通過する自動車交通量が減少する。	377	平成18年度	339(-10%)	平成23年度
歩道のバリアフリー化率の向上	%	鉄道駅と周辺の主要施設を連絡する経路L'に対し、移動円滑化基準を満足する経路L'の整備率(バリアフリー化率)の向上L'／L	目標2、目標3 歩道の拡幅整備、段差改修などにより、歩行者の安心・安全度が向上する。	0	平成18年度	100	平成22年度
名木川流下能力の向上	倍	改修前の流下能力Qと改修後のQ'の向上Q'／Q	目標1 改修後の流下能力が向上することにより、周辺住宅地の安全性が向上する。	1.0	平成18年度	2.5	平成23年度
まちづくり協議会及び研究会の設立件数	件	設立支援後のまちづくり協議会及び研究会の設立件数	目標1 まちづくり協議会などの設立を支援することにより、設立される。	0	平成18年度	1	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

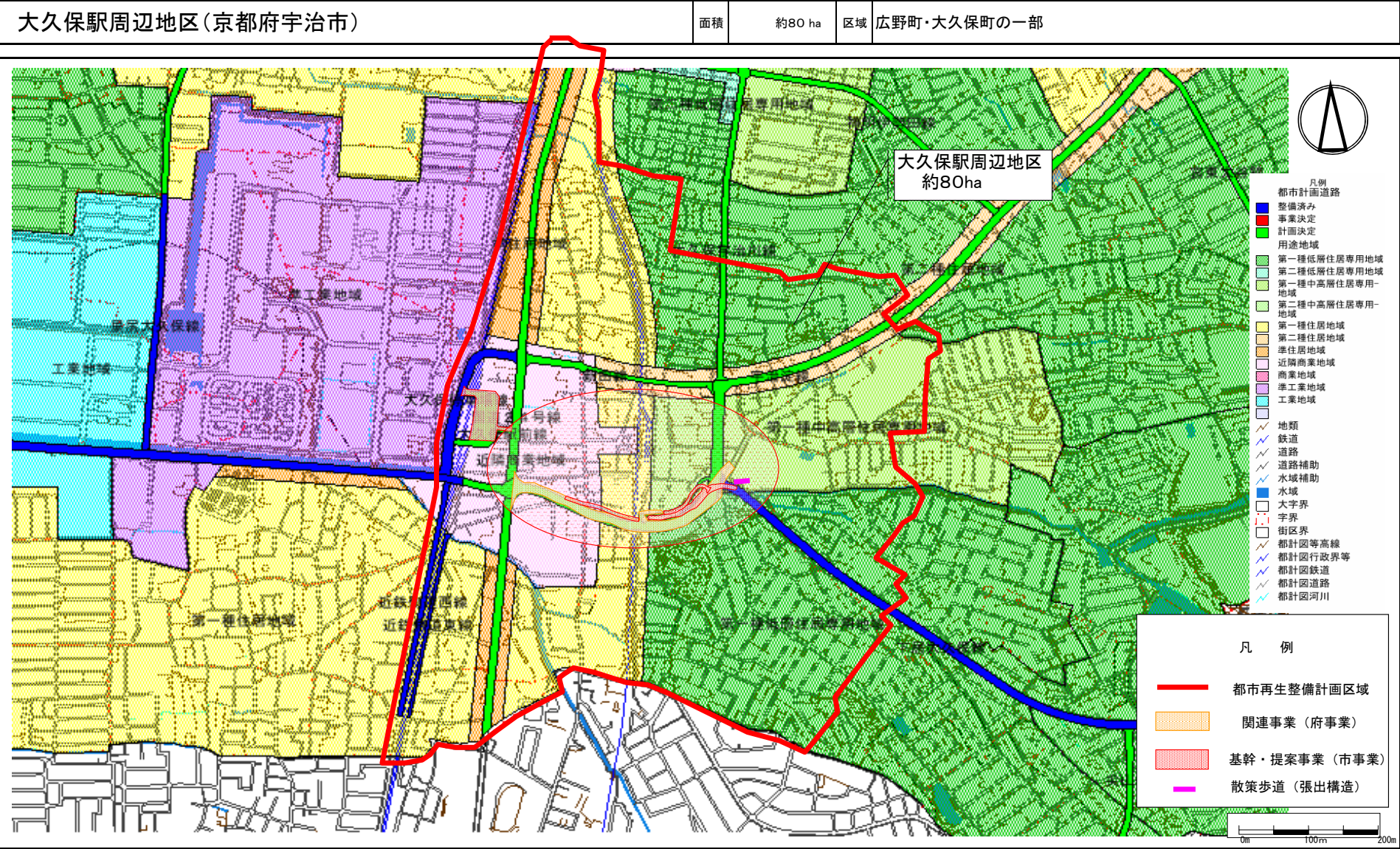
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業	
□目標1(歩いて楽しい大久保づくり) 整備方針1:駅周辺における歩行空間と沿道街なみ景観の充実 整備方針2:日常生活に必要な機能の確保と魅惑の街なみの再生 整備方針3:自然・歴史資源を活かした環境の形成と安全で安心できる住環境の向上	近鉄大久保駅前広場の整備(基幹事業)、大久保町21号線の再整備(基幹事業)、大久保町97号線の拡幅整備(基幹事業)、(仮称)広野まちづくり協議会の活動支援(提案事業)、宇治淀線の整備(関連事業:京都府)	
□目標2(来やすい・行きやすい大久保づくり) 整備方針4:公共交通結節機能の強化 整備方針5:通過交通の円滑な処理と秩序ある地区交通の確保		近鉄大久保駅前広場の整備(基幹事業)、宇治淀線北側側道の整備(基幹事業)
□目標3(円滑に乗換えや移動ができる歩行経路づくり) 整備方針6:特定旅客施設、特定経路等のバリアフリー化		大久保町21号線の再整備(基幹事業)、大久保町97号線の拡幅整備(提案事業)散策歩道(張出構造)の整備(提案事業)
その他 ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 大久保駅周辺地区の整備構想を策定するにあたり、一般公募の市民による大久保まちづくりワークショップで課題や解決方策の検討など活発な議論が行われたところです。ワークショップからの提案に基づいて、策定委員会が開催され、このなかでまちづくり活動の必要性を市民も含めて認識したところです。 提案事業に掲げているとおり、(仮称)まちづくり協議会等の活動を支援し、事業終了後も引き続き、まちづくり活動を支援します。 ○街なみ形成の誘導を図るための方策について 末広通りや旧大和街道の街なみ景観の形成に向けて、(仮称)まちづくり協議会等において沿道の街なみ景観形成方策等について協議を図り、その結果に基づいて地区計画、景観計画等の導入を必要に応じて図る。 ○交付期間中の計画の管理について 交付期間中においては、各種の事業を円滑に進めるため、関係者や地域住民と協働・連携を図り、必要に応じ事業効果や事業の進め方の改善等を行うための検証を実施する。		

交付対象事業費	2,189.6	交付限度額	875.8	国費率	0.4
---------	---------	-------	-------	-----	-----

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
基幹事業	道路		近鉄大久保駅前広場	宇治市	直	A= 4,200㎡	H19	H23	H19	H23	1,631.3	1,631.3	1,631.3	0.0	1,631.3	
			宇治淀線北側側道	宇治市	直	L=100m W=5m	H19	H23	H19	H23	2.9	2.9	2.9	0.0	2.9	
	公園															
	古都及び緑地保全事業															
	河川		準用河川名木川	宇治市	直	L= 344.6m	H19	H23	H19	H23	354.9	354.9	354.9	0.0	354.9	
	下水道															
	駐車場有効利用システム															
	地域生活基盤施設		近鉄大久保駅前広場	宇治市	直	—	H23	H23	H23	H23	12.9	12.9	12.9	0.0	12.9	
	高質空間形成施設		—	宇治市	直	—	H19	H23	H19	H23	146.7	146.7	146.7	0.0	146.7	
	高次都市施設															
	既存建造物活用事業															
	土地区画整理事業															
	市街地再開発事業															
	住宅街区整備事業															
	地区再開発事業															
	バリアフリー環境整備促進事業															
	優良建築物等整備事業															
	提案事業	住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
			沿道等整備型													
			密集住宅市街地整備型													
			耐震改修促進型													
		街なみ環境整備事業														
		住宅地区改良事業等														
		都心共同住宅供給事業														
		公営住宅等整備														
		都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業																
合計										2,148.7	2,148.7	2,148.7	0.0	2,148.7		
提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	地域創造 支援事業	歩道整備	大久保町97号線	宇治市	直	L=50m W=7.5m	H19	H22	H19	H22	13.1	13.1	13.1	0.0	13.1	
		散策歩道整備(張出構造)	名木川散策歩道	宇治市	直	L=27m W=2m	H19	H19	H19	H19	12.8	12.8	12.8	0.0	12.8	
		耐震性防火水槽	近鉄大久保駅前広場	宇治市	直	1基	H23	H23	H23	H23	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3	
	事業活用調 査	まちづくり方策策定	—	宇治市	直	—	H23	H23	H23	H23	2.7	2.7	2.7	0.0	2.7	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	まちづくり活 動推進事業	広野まちづくり協議会(仮称)	—	宇治市	直	—	H20	H23	H20	H23	6.0	6.0	6.0	0.0	6.0	

[illegible]

都市再生整備計画の区域



大久保駅周辺地区(京都府宇治市) 整備方針概要図

目標	目標1: 歩いて楽しい大久保づくり	代表的な指標	バス停留所以外で待機する最大バス停車台数の減少	台	6 (18年度) → 0 (23年度)
	目標2: 来やすい行きやすい大久保づくり		生活道路の自動車交通量の減少	台/12h	377 (18年度) → 339(-10%) (23年度)
	目標3: 円滑に乗換えや移動ができる歩行経路づくり		歩道のバリアフリー化率の向上	%	0 (18年度) → 100 (22年度)

